

- 流通する木材について、その合法性を担保・補強する情報や合法伐採確認シートの検討・検証を通じて業界ルールの確立及び木材流通の適正化を目指すとともに、誤伐・盗伐問題に端を発した業界が抱える課題の解決を目的に実施した。
- 供給側において、流通する木材の合法性を担保する伐採箇所、材積及び伐採跡地情報等の伝達方法やルールを確立するため、関係者からなる地域部会を設置し検討を進め、合法伐採確認シート（案）を作成した。
- また、受入れ側において、流通する木材の合法性を評価する仕組みについて検討し、その有効性について検証した。
- 令和4年度は、合法伐採確認シート（案）をモデル的に活用し、その有効性を検証するなど、合法性を担保・補強する仕組みづくりの検討を継続するとともに、デジタル活用に向けたGIS等デジタルリテラシーやPDCAリテラシーなどの人材育成プログラムを作成することとしている。

□ 事業内容

1 森林産業サプライチェーンマネジメントモデル構築事業

【事業費】9,980千円（うち譲与税9,895千円）

【実績】

- 検討委員会（2回）及び地域部会（4回）等の開催
- 仕組み・合法伐採確認シートの検討・作成
 - GISを活用したシステムによりモデル実証を実施
 - デジタル人材育成のための研修会を県内5会場で開催し、42名の参加があった。
 - シンプルな項目とした合法伐採確認シート（案）を作成

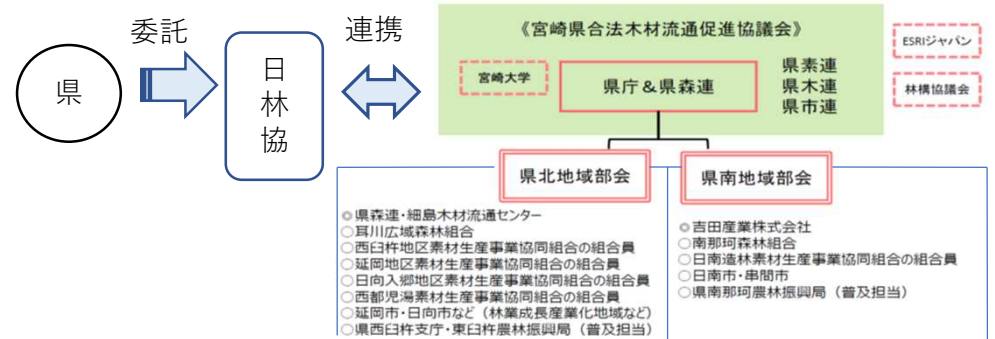
合法伐採確認シート

<p>1. 依頼者情報</p> <p>姓 名</p> <p>連絡先</p> <p>〒</p> <p>住所</p> <p>〒</p> <p>電話番号</p> <p>〒</p> <p>電子メールアドレス</p> <p>〒</p> <p>上級者名</p>	<p>2. 伐採箇所情報</p> <p>伐採箇所名</p> <p>面積</p> <p>林種</p> <p>伐採種別</p> <p>伐採時期</p> <p>伐採理由</p> <p>伐採計画</p> <p>伐採方法</p> <p>伐採時期</p> <p>伐採計画</p> <p>伐採方法</p>	<p>3. 合法性担保情報</p> <p>合法性担保方法</p> <p>合法性担保内容</p> <p>合法性担保期間</p> <p>合法性担保責任者</p> <p>合法性担保責任者連絡先</p> <p>合法性担保責任者住所</p> <p>合法性担保責任者電話番号</p> <p>合法性担保責任者電子メールアドレス</p>	<p>4. 合法性担保情報</p> <p>合法性担保方法</p> <p>合法性担保内容</p> <p>合法性担保期間</p> <p>合法性担保責任者</p> <p>合法性担保責任者連絡先</p> <p>合法性担保責任者住所</p> <p>合法性担保責任者電話番号</p> <p>合法性担保責任者電子メールアドレス</p>
--	---	--	--



（デジタル人材育成のためのGIS研修会）

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- 川上から川中のサプライチェーンに関係する団体だけではなく宮崎大学など第三者の視点が入るようにしている。
- 協議会の下に地域部会を設置し、現場レベルの関係者も参画するなど、現場の意見をしっかりと吸い上げる仕組みにしている。

□ 基礎データ

①令和3年度譲与額	173,036千円
②私有林人工林面積（※1）	230,240ha
③人口（※2）	1,069,576人
④林業就業者数（※3）	3,151人

※1：「2,020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より、※3：「H27年国勢調査」より